



| 日時 | 2022年6月24日 15:00 | | | | | 試合形式 | 90分 | | |
|-------|------------------|----|-------|---------|------|--------|-----|-------|--|
| 会場 | フェルナン・デュショワ・センター | | | | | ピッチ状態 | 人工芝 | | |
| 日本代表 | | | 0 | 0 | 前半 3 | フランス代表 | | | |
| | | | | 0 | 後半 2 | | | | |
| 警告・退場 | 後半 | 前半 | チーム合計 | | | 前半 | 後半 | 警告・退場 | |
| | 5 | 5 | 10 | シュート | 14 | 6 | 8 | | |
| | 5 | 5 | 10 | GK | 6 | 3 | 3 | | |
| | 2 | 3 | 5 | CK | 2 | 1 | 1 | | |
| | 5 | 2 | 7 | 直接FK | 4 | 2 | 2 | | |
| | 3 | 5 | 8 | 間接FK | 2 | 1 | 1 | | |
| | 3 | 5 | 8 | (オフサイド) | 2 | 1 | 1 | | |
| | 0 | 0 | 0 | PK | 1 | 1 | 0 | | |

【日本】

【フランス】



【得点経過】

- 17分[フランス]ゴール前に上がったクリアボールをGKがキャッチミス。NO.7がこぼれた球を押し込む。
- 20分[フランス]NO.10がスルーパス。右サイドのスペースに走り込んだNO.9のグラウンダーのクロスボールをNO.6がシュート。
- 43分[フランス]自陣ビルドアップのパスをNO.11がカット。そのままドリブルで抜け出したところをペナルティエリア内でファール。NO.4にPKを決まれる。
- 71分[フランス]シュートブロックからカウンターを受け、一度はボールを回収。しかし、判断が遅れたところ、再度ボールを奪われ、そのままGKが前にポジションをとっていたところをNO.10がループシュート。
- 78分[フランス]CKをNO.12がGK前でフリック、NO.9がボレーシュート。

【交代】

| | | | |
|------------|--------------|---|----------------|
| 6 3分[日本] | IN NO. 7石綿 | ⇔ | OUT NO. 1 1越智 |
| 6 6分[フランス] | IN NO. 7 | ⇔ | OUT NO. 1 2 |
| 7 5分[フランス] | IN NO. 1 0 | ⇔ | OUT NO. 1 3 |
| 8 6分[日本] | IN NO. 1 0犬塚 | ⇔ | OUT NO. 1 3渡邊 |
| 9 0分[日本] | IN NO. 1 2佐藤 | ⇔ | OUT NO. 1 7齋藤 |
| | IN NO. 1 5福原 | ⇔ | OUT NO. 8武田 |
| 9 2分[日本] | IN NO. 9奥田 | ⇔ | OUT NO. 1 6原良田 |

ゲームコンセプト

全員攻撃・全員守備

攻撃コンセプト

- ・相手DFの裏をとる →越えるサポート
- ・相手DFの間で受ける →継続するサポート
- ・ボールを奪われそうなときのサポート →緊急のサポート
- ・積極的なシュート
- ・サイド攻撃(数的優位)、低いクロス、プルバック

守備コンセプト

- ・前線から、中盤からの積極的な守備
(1stDFのアプローチ、予測、距離感、背後への飛び出しの予測・対応)
- ・ゴール前の守備(正面に立つ、距離感、簡単に飛び込まない)

ゲーム内容

フランスは、前線4枚が積極的に裏を狙い、推進力を生かした攻撃を仕掛けてきた。また、No.8とNo.10が起点となり日本のDFラインの背後にボール供給をしてきた。

オフサイドも厭わずに裏抜けしてくるフランスに日本はラインをコントロールしながら対応していたが、序盤は、フランスのスピードへの対応に苦戦した。徐々にスピードにも慣れてきたところであったが、前半17分に⑫佐藤のクリアボールがゴール前に高く上がってしまい、①原田のキャッチミスを押し込まれてしまい、先制点を奪われる。立て続けに前半20分に日本がゴールを奪いに、前がかりになったところを、DFラインの背後をつかれ、カウンターから失点。前半終了間際にもPKを与え前半3失点を喫する。後半は、2ndボールへの対応や、ボールを前進する機会も増えてきたが、後半23分に⑩犬塚のシュートをブロックされ、カウンターを受ける。一度は、⑫佐藤がボールを回収するが、判断が遅れたところすぐにボールを奪われ、①原田が前に出たところをNo.10にループシュートを決められてしまう。後半27分には、2ndボールの回収からシュートまで持ち込むが、相手GKにセーブされてしまう。後半30分にCKからマークが外れた隙をつかれ、NO.9のボレーシュートが決まる。日本は、交代カードをきるなど何とか得点を奪おうと試みるが、そのまま終了のホイッスルが鳴り、0-5の敗戦となった。